

TAL+TEC C1

1コース期間： 24日

対象疾患： 多発性骨髄腫

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	day1	day4	day8	day11
内服	デキサメタゾン 20mg ジフェンヒドラミン50mg アセトアミノフェン1000mg内服		内服	トアルクエタマブ皮下注投与 1～3時間前に内服		○	○	○	○
1	トアルクエタマブ 【 】mg	0.01 mg/kg	sc			○			
1′	トアルクエタマブ 【 】mg	0.06 mg/kg	sc				○ *		
1′′	トアルクエタマブ 【 】mg	0.4 mg/kg	sc					○ *	
1′′′	トアルクエタマブ 【 】mg	0.8 mg/kg	sc						○ *
2	テクリスタマブ 【 】mg	0.06 mg/kg	sc			○			
2′	テクリスタマブ 【 】mg	0.3 mg/kg	sc				○ *		
2′′	テクリスタマブ 【 】mg	1.5 mg/kg	sc					○ *	
2′′′	テクリスタマブ 【 】mg	3 mg/kg	sc						○ *

コメント

*前回投与から2～4日ごとであれば投与日変更可
投与1～3時間前に前投薬（DEX、ジフェンヒドラミン、アセトアミノフェン）を内服投与すること。
少なくとも漸増期（1～4回目）は必ず入院管理とする。

TAL+TEC C2以降

1コース期間： 28日

対象疾患： 多発性骨髄腫

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	day1	day15
内服	デキサメタゾン 20mg ジフェンヒドラミン50mg アセトアミノフェン1000mg内服		内服	トアルクエタマブ皮下注投与 1～3時間前に内服		(○)	(○)
1	トアルクエタマブ 【 】mg	0.8 mg/kg	sc			○	○
2	テクリスタマブ 【 】mg	3 mg/kg	sc			○	○

コメント

C2以降は原則前投薬は不要であるが、休薬後に再開する場合は、投与1～3時間前に前投薬（DEX、ジフェンヒドラミン、アセトアミノフェン）を投与すること。
継続投与期の初回投与を起点に、15週目以降で最良部分奏功以上が認められるもしくは23週目以降は4週間間隔とすることができる